

旅行を起点に地域づくり 人と自然の力で生きる力を育む



一般社団法人みなかみ町体験旅行

みなかみ町



- ▶ 代表者: 入内島 芳崇
- ▶ 設立年月日: 2014年4月1日
- ▶ 資本金: 0円(基金1,000万円)
- ▶ 従業員数: 5人
- ▶ 住所: 利根郡みなかみ町月夜野1744-1
- ▶ TEL: 0278-62-3450
- ▶ Mail: info@m-tr.jp
- ▶ URL: http://m-tr.jp

当社HPへは
コチラから→



企業紹介

平成21年から「子ども農山村交流プロジェクト」の地域協議会として発足し、平成26年に法人化。みなかみ町の外郭団体として、みなかみ町と周辺地域を訪れる方々のための旅行企画を専門に行う地域密着型旅行会社です。主に学生や企業等の団体を対象に自然体験と地域の暮らしに触れる旅行を企画しています。近年は、旅行マーケティングや地域のブランディングに力を入れヘルスケア事業として、地域資源を活用したヘルスツーリズム商品の開発やそれら商品を運営できるガイド人材の育成等、お客様を呼び込むだけでなく観光地域作りにもチャレンジしています。

経緯・背景

利根川源流に位置するみなかみ町は、平成29年にユネスコエコパークに登録され、令和元年にはSDGs未来都市としても認定されており、自然と人々の暮らし、そして観光ビジネスが組み合わさる日本でも稀有な地域です。世界的に注目されているサステナブルツーリズムの考え方を昔から体現する地域でもあります。近年の課題であるマストツーリズムの進展・オーバーツーリズムによる、環境汚染や自然破壊、暮らしの場の崩壊等、社会課題に対してSDGsの考え方を観光に活かし、地域の文化や自然環境に配慮し、本物の体験を通して、住民と観光客とが相互に潤う環境を作りたいと考えています。

具体的な取組

地域資源を活用した旅行商品プログラムの企画販売(一例)

- 1 谷川岳一ノ倉沢ハイキング**
ガイドが同行し、植生や地形についての案内のほかに、利根川を通じて、都市とみなかみ町の繋がりを解説を行いながら約8kmの道のりを3時間程度でハイキングします。
- 2 自然資源を活用したアウトドアアクティビティ**
利根川の急流やダム湖を利用した、ラフティング・キャニオニング・カヌー等のアクティビティ体験を用意。ストレス社会に向けた、リフレッシュ効果を高めるプログラムを用意しています。
- 3 農林業への理解促進を普及する農家民泊体験**
農村での農家民泊体験は、1泊～長期泊まで対応し、ふれあいを通じて農家のサステナブルな生活スタイルを都市生活者に伝える体験です。
- 4 SDGsの理念を理解するための学校向けプログラム**
令和2年から新設した体験活動で、学校教育として、みなかみの環境配慮の実例を学び、来訪者の自地域でSDGs活動や地方との関係性を学ぶプログラム。



成果・効果

町内で活躍するネイチャーガイドを通して「ユネスコエコパーク」や「SDGs未来都市」に選定された当地の特性や森や川等の自然資源の尊さやそれらを守る大切さを旅行プログラムを通して感じてもらっています。令和元年度は約14,026人延べ宿泊数21,225人泊の体験受入を行いました。

令和2年度から地元の小学校に普及する活動を開始し、町内や県内を旅する修学旅行の企画実施から、地域の魅力を旅行づくりを通して知る授業を実施、地域の魅力を再発見する活動を展開しています。地域住民向けにはSDGsコーディネーター研修会を開催し、地域住民の「輪」を広げ、地域内で新たな循環を生む仕組みづくりが始まりました。



当社にとってのSDGsと、その展望

身近な地域資源を見つめ直し、旅行の在り方自体を考え直す時期だと思います。遠くに行くことだけが旅行ではなく、例えば群馬県の住民が県内のまだ知らない場所を探し旅することは、訪問先も旅行者にも新たな気づきや学びがあると思います。また、旅行者に対して、そういった旅本来の楽しみ方を提案することが今後の旅行業界の使命であるとも考えます。

旅行を通して自地域の魅力(楽しさやワクワク感)を感じてもらい愛郷心を育む活動を県内に広げることで、持続可能な地域づくりの一翼を担いたいと考えています。環境配慮や持続可能な地域づくりには、次世代を担う子どもたちへの教育が必要であり、それらをサポートする活動を継続していきます。将来的に、大人も子どももみんなが「自分ごと」と捉えられる地域を目指していきたいです。